

# ミズナ

## 栽培のポイント

### ①保温をしましょう

ミズナは耐寒性が非常に強く、真冬に保温をしなくても枯れることはありませんが、生育が遅くなります。低温期に栽培する場合はハウスやトンネルを使用し、播種後に寒冷紗などの不織布をべたがけして保温を行い、生育を促しましょう。

### ②乾燥に注意

「水菜」というだけあって、生育に多くの水分を必要とします。過度な乾燥に注意し、株元に敷きわらなどをして水分保持に努め、畝を乾かさないうち水やりを徹底しましょう。

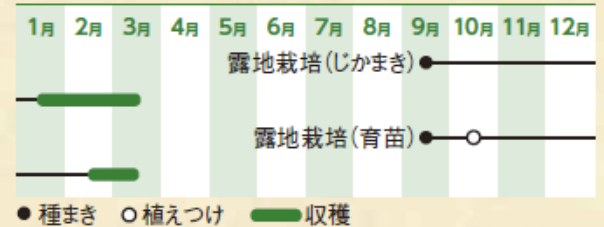
### ③アブラムシの防除を徹底しましょう

病気を媒介するアブラムシの防除を徹底しましょう。防虫ネットやべたがけ用資材、殺虫剤などを組み合わせて使用することで、より良い効果が期待できます。見つけた時はすぐに駆除しましょう。



品種例  
・京みぞれ  
・京錦 など

## 栽培カレンダー



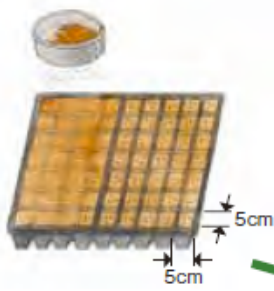
## 1 畑の準備

〈1㎡あたり〉

堆肥：7～8握り  
化成肥料：大さじ3杯  
油粕：大さじ5杯

種まきの半月くらい前、全面に肥料をばらまいてよく耕しておく

## 2 苗づくり



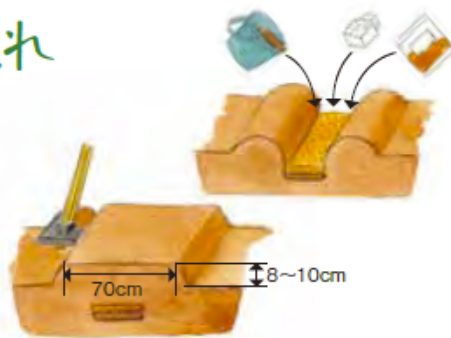
128穴のセルトレイに1カ所3～4粒まき、本葉2枚のころ間引いて1本立てにする  
少ない本数なら3号のポリ鉢に4～5粒まき、育つにつれて間引いて1本立てにする



## 3 元肥入れ

〈溝の長さ1mあたり〉

堆肥：4～5握り  
化成肥料：大さじ2杯  
油粕：大さじ5杯



## 4 植えつけ

植え穴をあけ、苗を植えつける

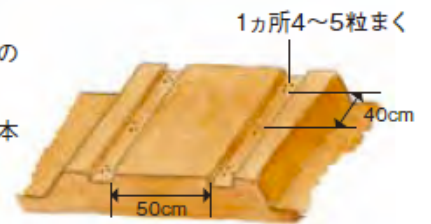
寒い地域ではマルチが有効  
植え穴 ポリエチレンフィルム



若いとき、小さな株で収穫する場合には15cm×15cmくらいの密植にする

〈じかまきの場合〉

幅2～8cm、深さ1～1.5cmのまき溝を2列つけ、種をまく  
育つにつれて間引いて1本立てにする



地下水位の高い畑ではベッド（上げ床）にするのがよい

## 5 追肥

第1回

草丈15～17cmくらいに伸びたころ、株のまわりのところどころに肥料をまき、土を耕し込む  
〈1株あたり〉  
化成肥料：大さじ1杯  
（密植栽培するときは小さじ1/2杯）



第2回

葉が重なり始めたころ、畝の両側に追肥をし、通路の土をやわらげながら畝に土を寄せる  
〈1株あたり〉  
化成肥料：大さじ1杯  
（密植栽培するときは大さじ1/2杯）



## 6 害虫防除

ゆうし  
有翅のアブラムシ、コナガ、ヨトウムシなどが大敵  
苗床や畑を防虫ネットやべたがけ資材で覆うか、殺虫剤を散布する

## 7 収穫

株が大きく育ったら、順次株元から切り取り収穫する

